

☆☆「強く 正しく 健やかな西小っ子」に！☆☆

大村市立西大村小学校
学校だより

一歩前へ

文責：校長 高木 修
令和7年10月8日 No.12

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

◆ 体育館 リニューアル

夏休みに入ってすぐに始まった、体育館の床の張り替え工事がようやく終わりました。あちらこちらが傷んでいた木製の床が、最新の素材の床に生まれ変わっています。10月1日より、子どもたちも体育の授業等で使っていますが、新しい床の柔らかい踏み心地をととても喜んでます。

今年度は体育館の床だけでなく、バリアフリー（校舎から体育館までのスロープと多目的トイレの設置）工事と、校舎内の照明のLED化工事も、同時進行で行われていました。LED化工事は既に終わっていて、あとはバリアフリー工事のみとなりました。完成まであと少しですので、それまで引き続き安全の維持に留意していきたいと思えます。



◆ 全校集会

10月7日（火）、体育館の床が新しくなり、また、暑さもだいぶ和らいできましたので、体育館で全校集会を行いました。校長講話として、今回は「あいさつ」について、以下のような話をしました。

あいさつには、「自分の心をひらく」という大切な意味があります。お互いに心をひらいてあいさつを交わせれば、より、相手の人と近づくことができるし、仲良くなれます。そして、あいさつを交わせる人が増えていけば、とても安心して心強くなります。現に、あいさつをして、相手からも元気なあいさつが返ってきたとき、とても良い気持ちになりませんか。思わずお互い笑顔になって、さらに元気が出ませんか。やる気が出てきて、「今日も一日頑張るぞ」という気持ちになりませんか。自分の心をひらき、相手も心をひらいてくれたら、

心はつながります。心がつながるから、そんなさわやかな良い気持ちになるのです。こんな大事なあいさつが、もっともっと上手になって、誰もが「あいさつ名人」になるように、今日は皆さんに上手なあいさつのポイントを教えますね。そのポイントは4つあります。実はこの「あいさつ」の言葉の中に隠されています。

～途中省略～

皆さんの中には、名前をつけてあいさつをしてくれる人もいます。これはさらに素晴らしいです。私はまだまだ皆さんの名前を覚えていないので難しいですが、できる人はこれからも続けてくださいね。

まずは家族から…、そして仲の良い友達、学級の仲間、担任の先生、学校のみんな、それから地域の方々…。

これから、気持ちのいいあいさつの輪がどんどん広がり、皆さんの心と心がつながっていくことを願っています。

あいさつ名人をめざそう！

